



ぼらんていあ通信

9月号
通巻 No.442

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2018年9月26日
連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内
TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: http://sagamiva.info/



障がいのある人もない人も みんなで楽しむ市民のまつり ほかほかふれあいフェスタ2018

10月20日(土) 10:00~15:30
あじさい会館&ウェルネスさがみはら前広場



ほかほかふれあいフェスタが、今年も開催されます。
健康フェスタ(ウェルネスさがみはら)や健康スポーツイベント(市体育館)と同日開催です。ご家族やお友達と一緒に、秋の一日をエンジョイしてください。

- *館内では、スタンプラリーを楽しみながら色々な体験を!
車椅子や視覚障がい者スポーツ、録音、点字、拡大写本など楽しい体験コーナーが満載です!
- *あじさい会館ホールではコーラスと映画上映!
- *さがみはらウェルネス前広場では、ミニSLが運行!
- ★ステージではヒップホップダンス、車いすダンス、大道芸、チアリーディング、阿波踊りなど
- ★模擬店やバザー店でちょっと一息!
焼きそば・味噌おでん・コーヒー・ラーメン
ポップコーン



障がいのある人もない人も みんなで楽しむ市民のまつり!

ほかほかふれあいフェスタ2018

10/20(土) 10:00~15:30
あじさい会館&ウェルネスさがみはら前広場 入場無料

- 広場前ステージ
ヒップホップダンス・大道芸
バンド演奏・チアリーディング
阿波踊り・車椅子ダンス
よさこいソーラン
10:20~15:00
- 映画上映
『そして父になる』
是枝監督 福山雅治主演
13:00~15:00
- バザー&模擬店
日用雑貨&衣類の販売
焼きそば・味噌おでん・コーヒー
ラーメン・ポップコーン
10:15~15:30
- ミニSL
いしよに乗ろう!
- あじさい会館でスタンプラリーを楽しもう!
景品がもらえるよ!
10:15~15:30
- 開会セレモニー
あじさい会館ホール
10:00~10:15
- 会館ホール
コーラス
12:30~12:50
- 福祉体験コーナー
車椅子・福祉用具・要約筆記
視覚障がい者スポーツ・録音
点字・拡大写本・折り紙・手芸
色々体験してみてね!
10:15~15:30
- 展示
養護学校の生徒の作品展
参加団体の紹介

主催：ほかほかふれあいフェスタ2018実行委員会
NPO法人相模原市障がい福祉団体連絡協議会
NPO法人相模原市障がい福祉団体協議会
相模原市障がい福祉センター
相模原市障がい福祉グループ
相模原市障がい福祉推進委員会
相模原市障害児福祉協議会
相模原市社会福祉協議会
協力：相模原グリーンライオンクラブ

是枝弘和監督 福山雅治主演

第66回カンヌ国際映画祭審査員受賞

そして父になる

Like Father, Like Son

6年間育てた息子は、他人の子でした。

「万引き家族」などの
是枝監督が、子どもの
取り違えという出来
事に遭遇した2組の
家族を通して、愛や
絆、家族といったテーマ
を感動的に描くドラマ

10/20(土)
映画上映
あじさい会館ホール
13:00~15:00
入場無料

出演者
監督：是枝弘和 福山雅治、木村文子、二宮和也、長谷川裕見子、生田絵梨花、田中碧、窪村真由、安八津美、杉本有希、リリー・フランキー

あらび
エリート建築家の片岡修太郎と妻みどり。「誰になる一人息子」良多の家族は
幸福な家庭で暮らしていた。ある朝、良多が養子院で生まれ、10歳で「キャンプ」
に行く。戻ると2人の子が暮らす家族で暮らすことになる。子育てを通じて、
そんなある日、良多とみどりは、良多が生まれた病院
で、6年前に良多が生まれたことが明らかになり、良多が他人の子に
育ったことを知ることになる。これまで生きてきた良多、これまで生きてきたみどり、
そして、その家族の葛藤が……

映画
是枝監督、福山雅治主演
第66回カンヌ国際映画祭審査員受賞『そして父になる』
あじさい会館ホール 13:00~15:00

今年、第71回カンヌ国際映画祭でパルム・ドールを受賞した『万引き家族』などの是枝弘和監督が、子どもの取り違えという事に遭遇した2組の家族を通して、愛や絆、家族といったテーマを感動的に描いたドラマです。ぜひ、ご覧になってください。樹木希林さんも出演しています♪

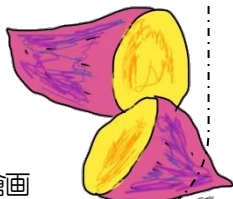
開会セレモニー
あじさい会館ホール
10:00~10:15



10月の記念日は？

小倉義男

10月13日は、サツマイモの日です。10月はサツマイモの旬の季節で、また、江戸から川越までの距離が約13里なので、サツマイモに「栗(九里)より(四里)うまい十三里」という異名があったことから、10月13日をサツマイモの日としたそうです。埼玉県川越市のサツマイモ愛好家のグループ「川越いも友の会」が制定。そんな異名があるんですね。(〽)



小倉画



キャンペーンのエプロンをつけて、募金活動！

お子さんを連れて方は募金してくれるケースが多く、親心を感じました。
参加者 高橋 吉留
小野 杉本、勝部(写真撮影)

毎年恒例の二十四時間TVの募金活動を「サ・ピック西橋本店」で八月二十四日午後四時から1時間ほど行いました。ここ数年は放送の半月ほど前であったが、募金者が少なく寂しい想いをしていましたが、今年、は直前に行った為、例年より多かったと思いました。タイミングが大切ですね。

『愛は地球を救う』キャンペーンに参加

杉本 榮治



Twitter

ぼらんていあ通信版

ツイッターコーナー

あじさい会館と私

平柳 真一

私は空調関係の電気工事業で、相模原市に家を購入し一年目にあじさい会館の図面を引き、作り出しております。スタート時、五階建てで着工し、すべこいフロア増床の指示で、現在の6階建てになりました。

後で聞いた話として、福祉の建物なので増床するよう私の前任会長 渡辺正男氏が市に強く要望したと前会長は話しておりましたが、竣工後、入居したのは現ボランティア協会のみでした。私は竣工時よりの経緯をふまえ、小川市長時代に団体長会議の席上、何度も連協の事務所をあじさい会館内に作ってほしいと要望し、数年たつてついにあじさいの心相談室』を連協事務所として開設できました。

その後、他の福祉団体も入居させるべく、2階から4階に連協事務所が移転し、その後ボラ協の事務所が4階から2階へ移動されてしまいました。

私は仕事であじさい会館を作りましたが、一男が障がいをもって生まれ、自分が作った建物を利用し、会議やイベントで使う不思議な因縁を、これは何なのだろうと思つ今日この頃です。

人生七十歳を過ぎ、体も弱くなつてくると、いままで気付かぬ事や、人の痛み等が伝わり、不思議な巡り合わせ等も強く感じてくるように思います。

又、人と人の出会いが、その人の人生を大きく左右する事も感じており、今後、短い人生がもしもませんが、人との出会いを大切に生きていきたいと思つています。



クイズに挑戦

漢字クイズです。

まずは初級編。

- ①真摯 ②篝火 ③暖簾 ④後裔
- ⑤香車 ⑥辱める ⑦兵糧
- ⑧成就 ⑨芳醇 ⑩拵える

続いて中級編。

- ⑪忌々しい ⑫徐々 ⑬浩然
- ⑭礎 ⑮猥々 ⑯範疇 ⑰言質
- ⑱鬱蒼 ⑲頃 ⑳弁舌

さあ上級編です。

- ⑳不束 ㉑木乃伊 ㉒飄飄
- ㉓凭れる ㉔鉤 ㉕喇叭
- ㉖胡坐 ㉗頗る ㉘喧しい
- ㉙手薬煉 ㉚鳩尾 ㉛尋麻疹

*お疲れ様です。初級編は隣に答えが！ 中級編と上級編は次ページに答えがあります。

クイズの答え

初級編です。

- ①しんし ②かがりび ③のれん
- ④こうせい ⑤きょうしや ⑥はず
- ⑦ひやうりゆう ⑧じょうじゆん
- ⑨ほうじゆん ⑩じくろく



畑の説明をしてくださる北原さん

ボランティア活動グループ訪問記

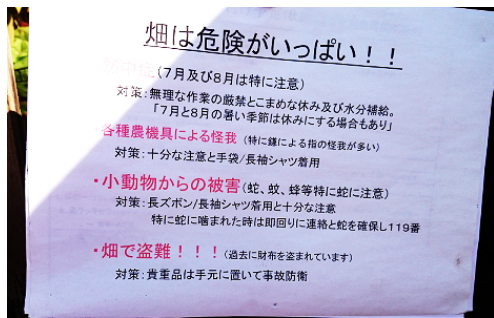
北原さんの畑で

ボランティアさんが活動しています



九月八日(土) 午後相模線原当麻駅から上溝行き
のバスに乗って途中の中丸バス停で下車。ここから
徒歩であらかじめ聞いていた道順で畑を目指す。だ
が、広い畑が野原のように広がっていて見当もつ
きません。携帯電話もあいにく繋がらず、人影の見
える方へ歩いては聞き、聞いては歩き、目に入る草
花や畑の作物を見ては同行の山崎さんと二人でおし
ゃべり。とじつはほぼ一周したところで諦めて帰路
へ。でも二人とも疲れてはいませんでした。日照り
も思ったより優しくかったし、農作業中の皆さんも側
に寄って来て話をしてくださるので、なにしろハイキ
ング気分が味わえたことが何よりの収穫だったと思
います。夜になって北原さんにお電話して改めて明

日お邪魔することにした。農作業中
電話は車の中に置
いておくつもりで、
電話が通じなかつ
たのでした。あぐ
る九日(日)の午
後、ほぼ近くまで
来たと思えるところ
で北原さんに電
話してみると少し
遠くの手を振って
下ろしている姿が見えてホッとしました。
畑の所有者北原強さんは新戸にお住まいで、有機
無農薬で沢山の種類の野菜を育てています。
「南ボランティアセンターにボランティア活動をし
たいと来所される方の中には、精神障がいなどによ
りコミュニケーションが苦手な方もいるそうです。
そうした方々が活躍できる場を作りたいと職員から
相談を受け、自分の畑と一緒に作業してもらおう活動
を始めました。畑で作業をするといっただけでも外出
のきっかけ作りに繋がっていると思いますが、出来
た野菜を市内の児童養護施設などに一緒に届けるこ
とで、自分が一生懸命育てた野菜が子どもたちの笑
顔に繋がっていることを実感できるのかなと思いま
す。実際、畑以外でも子どもたちのイベントにボラ
ンティアとして参加するようになった方もいるよう
です。そんな風に、畑作業をきっかけに、自分が出
来ることで人に言ってもいえないという体験を彼らが
重ねていくくれたら僕も嬉しく思います」
お邪魔した畑には、今キャベツの小さな苗が植え
られたばかりで虫よけのネットで覆われています。
時いたばかりの人参が細い葉を覗かせていたり、枝
豆も収穫が終わったものところから収穫になる黒豆
の原種という枝豆もめりまが。とじつはおいこのだ
そです。この枝豆もカメムシがしつこく、防虫作
業が必要だそうです。落花生や「ボウ、サライ」も
立派に葉を付けていて収穫の時期を待っています。
畑の隅に大きく育ったオリーブの「樹」が一本。これ
はタネを育てるために実を育てているのです。
「ボランティアの方たちに手伝ってもらって農作業に
は危険もいっぱいあります。農作業は怪我をしやすい
が、あなかもつねに安全。虫に刺されてお薬を飲む



大きく書いてある「注意すべきこと」

す。熱中症にも注意が必要です。それでも楽しんで
「ことを教えて、楽しんでほしいのがいい。二、三年
続けている人も多く、芋煮会や焼き芋の会なども楽
しい行事です」と最後に話してくださりました。

余談ですが他の畑
で作業中の方たちも
皆さんイキキと作
業していて、中には
病気を克服したとい
うお話なども聞きま
した。体にも心にも
健康にも良さそうだ
と感じました。



★あなたも畑で

北原さんと同じ活動をしてみませんか。



北原 強
電話 046-2502-7600

クイズの答え

中級編です。

- ⑪ いましまし
- ⑫ おまかせ
- ⑬ じいちゃん
- ⑭ いしやえ
- ⑮ ねとろ
- ⑯ はたかひ
- ⑰ じいちゃん
- ⑱ うなぎ
- ⑲ わんぱく
- ⑳ 上級編です。
- ㉑ ふっか
- ㉒ みいら
- ㉓ ひろひろ
- ㉔ もたれる
- ㉕ かなな
- ㉖ うっほ
- ㉗ へん
- ㉘ いはる
- ㉙ やかまし
- ㉚ いはる
- ㉛ みぞお
- ㉜ おひ
- ㉝ こま

ほのぼの♡ぼらんていあ14
ハッピーミュージック

マジックが出来たらいいな、やりたい。念願叶い、講師の下で練習開始。マジックの難しさ、不思議の数々に魅了！！

ボランティア活動の誘いを頂き、高齢者施設での第一歩。利用者さんは演技を観ると何処から出てきたの、どうして「ア」綺麗だと笑顔、楽しかったよ。また来てねと拍手を沢山頂きました。終わって安堵と同時に楽しんでくれる方が居る。やれば出来ると実感しました。(八年前のこと)

それ迄も、自分磨きの練習を続け、施設はもちろん保育園、サロン等々から声を掛けて頂いて居ます。

お伺いする依頼先の対象者により演技の内容を変え、良かった、楽しかった、の聲が沢山頂けるプログラムをと心掛けています。

また観てくださる方がマジシャンになって演技を行い不思議さを感じて戴いています。

これからも私の出来る、出来そうな事は、少し無理でも楽しみ乍ら皆様の笑顔に、励みと、元気を戴き、沢山の演技を習得して、ボランティア活動を続けていきたい。

平成30年の活動内容(9月迄)

- 1月 中央矢部ちゅうちゅう
アクア水郷田名デイサービス
- 3月 平和保育園
デイサービス芙蓉の園
リバーサイド田名ホーム
むくどり第2保育園
- 4月 ツクイ横山デイサービス
- 5月 デイサービス リズム
もみじの手
グループホーム憩
- 6月 デイサービス東橋本
ゆめクラブわかば
アクア相模原6丁目
ホームステーションライフ
アクア若松デイサービス
- 7月 グループホームシンフォニー
ひなた村(町田)
- 8月 デイサービス芙蓉の園
塩田ホーム
はなことば相模原
- 9月 御園3丁目サロン
上溝ジョイフルホームそよ風



問合わせ先；中央ボランティアセンター(いるかバンク) 042-786-6181

理事会報告

九月五日(水) 十三時半から(理事八名出席)

一 報告事項

- (一) 高橋会長から
認定NPO法人資格が七月二十日付で承認された。今後五年間有効。

(二) ハンディキャブ委員会

- ・運転手の八十歳定年制導入を検討中。南区では新規利用者の受付を中止しており、実態を調査して定年制の運用を検討する。

(三) 総合企画委員会

- ・若手会員による懇談会を開催し、ボラ協の在り方について意見交換した。

(四) 事務局委員会

- ・ハンディキャブ利用者との予約時の対応について、事務局員全員で情報を共有するよう努める。

(五) 講座検討委員会

- ・来年の春講座は「終活」をテーマに一日開催で検討する。

(六) 傾聴委員会

- ・傾聴活動情報交換会を九月十一日に開催。

二 審議事項

- (一) ハンディキャブ運転手用講習会の受講料(八千円)は、従来受講者が半額負担していたが、ボラ協が全額負担する。

- (二) 一回の寄付金が五千円以上の方には礼状を送付することも了解を得たうえで、ぼらんていあ通信に氏名を掲載する。

- (三) 来期の選出必要新任理事数は三名と無任所理事一名の四名とする。

三 その他

- ・協会の入会金、年会費に関する規約があるか確認する。無ければ、規約案を作成、総会で審議。
- ・講座の修了式に出席する理事を決定した。

次回理事会 十月三日(水)



さがサポ
街づくりミーティング

日時・場所

十月二十八日(日)
九時半～十一時半

あじさい会館研修室

会費：一〇〇円(お茶代として)

持ち物：筆記用具

対象：相模原市に在住・在勤・在学中の方または、相模原のことが好きな人、相模原に思い入れのある人、相模原を自慢したい人。

問合せ先

さがみはら認知症サポーター
ネットワーク事務局

電話 042・707・1603
Fax 042・786・6631

ボランティア協会 10月の予定

日	時間	内容
1(月)	14時	総合企画委員会
3(水)	13時半	定例理事会
6(土)	10時	HC委員会
11(木)		黄色いシート キャンペーン
13(土)	13時	事務局委員会
20(土)		ほかほかふれあい フェスタ
25(木)	13時	ぼら通印刷
26(金)	13時	ぼら通発送

精神ボランティア養成講座

日時：十月二十七日(土) 十時～十五時
場所：南区地域福祉交流ラウンジ
(ポーノ相模大野二階)

定員：二十人(申込順)

参加費：五百円(資料代、印刷代等)

申込期間：十月一日(月)～二十二日(月)

主催：精神ボランティアグループびびき

申込・問合せ先

中央ボランティアセンター
電話 042・786・6181

第七回「コンサート」虹のかけ橋

日時：十月二十日(土) 十三時開演

会場：杜のホール橋本 大ホール

内容：コーラス、ダンス、楽器演奏等
障がいの有無にかかわらず、皆で楽しみましょう、心を一つにして迎えるファイナルコンサートです。

定員：先着順(申込不要)

直接会場にお越し下さい。

申込・問合せ先

「コンサート」虹のかけ

橋実行委員会

(担当 平川)

電話

042・756・1980

「係わる人すべての幸福を求めて」!

株式会社ダイアグラムは創業7年目まだ若い会社ではありますが、私たちが仕事をし続けていられているのも、様々な方々の支えがあってのものです。社員一同成長を求め、日々変わりゆく社会の中、電気通信業界も同様、日々、電化製品やネット環境も変わり工事方法も変わりつつあります。その早い時代のスピードに乗りお客様が求めている以上の品質で応えられるように日々勉強をしています。

お客様の立場になり工事の提案をいたします。より良くなって欲しいをモットーにCO2削減等の環境的視点や社会的視点、費用対効果をトータル的に考え経済的にお客様の最善を提供致します。

また地域に密着した企業を目標とし、次世代を担う子どもたちに、地域の先生として市内中学校へ出前授業を行ったり、職場体験として市内の中学生を受け入れています。

その他にも地域行事等にも積極的に参加し相模原の活性化に努めてまいりますので、今後ともご愛顧のほどよろしくお願い致します。



安達 裕也さん

相模原市で活躍する会社紹介
通信・電気・太陽光
株式会社 **ダイアグラム**

代表取締役 あだち ゆうや 安達 裕也さん(36歳)
(公社)相模原青年会議所
広報発信委員会 委員長
本社 〒252-0131
緑区西橋本1-7-11 林ビル1F
電話 042-703-4841
Fax 042-703-4842
Email: adachi@dia-gram.co.jp

事業内容

1. 電気工事部 一般、集合住宅配線 エコキュート、太陽光発電 オール電化工事 産業用太陽光発電工事 工場、施設電気工事 エアコン、空調工事 店舗電気工事全般 リフォーム リニューアル工事 LED化工事	2. 通信工事部 架空配線工事 屋内光回線工事 LAN工事 ビジネスフォン工事 TVアンテナ工事 TV集合住宅工事 防犯カメラ工事
--	--

市社協事業紹介 (その6)

ボランティア協会の皆さん、こどもはまー相模原市では多くのボランティアの方々、自治会、地区社協、民生委員、児童委員の皆さんがそれぞれの地区で福祉活動に取り組んでいます。市や市社協も、多くの方々の協力を得て、「みなぎらい」の地域力が育ち、人じんわんごまち、なぐみほら」を共通のキーワードとして地域福祉の推進に取り組んでいます。

前記に引き続き、「地区社会福祉協議会」と相模原市社協の前身である町社協の成り立ちなどについて紹介いたします。

社会福祉協議会について

町を挙げて社会福祉協議会の設立を目指し、上溝地区社協発足（昭和27年4月2日）直前の広報相模原第200号（昭和27年2月1日発行）では、その機能等について次のように紹介されています。

1 町村になぜ社会福祉協議会が必要か

我々の町や村には、役場、学校、公民館、警察署、婦人会、青年団、農協などがそれぞれの立場から、我々の幸福のために努力しているが、一度その立場を離れて、広くその町村の人々の幸福について考えた場合には、まだまだ未解決な問題が多く、そのどれを取り上げても相互に深く関連している、総合的な方法で解決に努力しなければ、その目的を達するのことが難しくなるに気が付かせらるゝ。しかも、我々が発見する問題は多々ある。

それが解決に当たらない原因は少なくない。そこでこれらの問題を解決を一層効果的にするにはどうしても住民全体が問題解決に当たること、力を集めて、無理と無駄のないように活動する体制が必要である。その体制の一つが社会福祉協議会である。

2 町村の社会福祉協議会の特色

町村の社会福祉協議会は「その町村の住民の腹藏の無い意見、要請に応え、或いはその住民の要望を聞き取り調査し、その当面の問題を解決するために、総合的に計画を立て、社会福祉事業施設その他これに関連のある諸機関を、夫々の特徴を尊重し、その能力を活用して、組織的な活動を展開する」に仕向け、その効果的な結果を収めるための組織である」と言えます。

その町の協議会の活動は

- ① 統制的活動でなく教育的活動を。協議会活動に参加する者が、その本来の使命を生かす共同の問題を合理的に解決するために積極的に協力活動するよう努めることが大切。
- ② 「施設中心」でなく、「その住民の要請を満たす」ことを目標に、各種関係団体が、地域全体の幸福を高めるために活動し、自分の立場のみを固執しないことが望ましい。
- ③ 調査は実証的。調査によつて、町村住民の欲しているものを正しく把握することが必要。調査では統計的方法ばかりではなく、座談会や関係者の談話からしてもよい。

④ 問題解決は一歩一歩、町村は手の付けられない問題が多く、他方財源には限がある。その協会の能力に応じて、まず重点的、地域の人々の関心が高へ、しかも短期間で解決可能なものから着手し、一つの問題が解決出来たところ自信を持つことが大切。その自信が更に困難な問題に立ち向かう勇気を起す。

⑤ 福祉計画の立案に専心せよ。協議会は福祉計画の立案に専心し、その実施は各団体をその特性に応じて活用するようを通つたべし、もし事業を営む場合は、参加団体の共通の利益となるよう仕事に限定するようが賢明である。

3 町村社会福祉協議会の組織について

組織はなるべく簡単なのがよい。会員は社会福祉の専門家だけでなく、町村各地域の代表者その他社会福祉に関連のある団体施設の代表者などの非専門家も加える。

問題は、これらの人々を通じて町村全体の福祉について住民一般の関心を高め、社会福祉の問題解決に積極的になるように努めなければならぬ。

いかがでしたか。前号と合わせお読みいただくと、全国初の実験地区として指定を受けた相模原町が、住民の総力を挙げて社会福祉協議会の設立に取り組んでいる様子がお分かりいただけると思います。

次号もよろしくお願ひします。

市社協 田所

会員のひろば

様々なボランティア活動をな
して下さる会員の皆さま、その活動
の紹介や経験したことなどを語っ
ていただくコーナーです。

自分探しの旅に生かぎを求め

篠田 昭一



1、きっかけ

芭蕉は住居も人にゆずり、晩年の全生命をかけて
江戸深川から『奥の細道』の旅に出発している。

私の場合、都内へ通勤する一般的な会社員とし
て、地域に何のかかわりもなしに脱会社人間になっ
た六十代後半の時、幸い元気で何事にも前向き
に取り組み意欲も十分と思っていたので、「広報が
みはら」で知ったボランティア養成講座（以下「講
座」）を受講した。

講座には講義と、実技があり、四日間学んだら何
かやることが見えるのではと思ったのであつた。

1の講座「これから高齢社会では、私を含めた
元気な高齢者が福祉の担い手として期待されている
ことを知り、期待に応えて活動できるなら、やはり甲
斐がある」というもの「やってみよう」と決め、自
分探しの旅の出発になった。

2、これまでのこと

高齢者福祉の担い手としての活動は、主として老
人ホームでのテイサークルの手伝い、将棋の相手、
車椅子の介助など、個別のニーズでは話し相手、粗
大目出しなど、いくつかのグループに参加、圧倒
的に女性の多い中でもあまり違和感はなく、新たな

人との出会いがあり、時にはグループの代表を務め
たり、グループから派遣されて、かつて受講した講
座の企画運営に参加し、委員長を仰せつかったり、
充実感があり、結構楽しく思ってたけれど、グル
ープの一員としての活動は今も続いている。

このほか、公民館活動ではリサイクル委員会があ
り、老人クラブ活動やいきいきサロン活動もある。
1つ言って毎日歩いているようだが、フルタイム
というとはなく午前中か、午後または夜間。しか
も、活動日程は家庭と自分の都合できめたものであ
るから、上下関係のない気楽な生涯現役感があり、
何より生活のリズムが得られ、健康にもよいことが
嬉しく、生かぎ甲斐を存分に味わって来たように思っ
ている。

3、私にとって上鶴間大人塾とは

私の自分探しの旅は、講座の会場であった「あじ
さい会館」のある中央に始まり、最も遠い田名地域
から、大野中、大野南、上鶴間へと活動範囲を次第
次第に自宅に近付けたが今日に至っている。大人
塾の活動なら最も身近な地域に...

そして、これまでは何れも出来上がったグループ
への参加で、そのグループの活動目的に賛同した仲
間であったが、大人塾は一人ひとりが違う個性の人
達との出会いであり、何をどのように、何から始
めるかを探り、できれば小さくても第一歩を踏み出
せないか？、これまでとかなり違う、新たな旅探し
になりそうです。

何かロマンを感じます。この塾1年でこれまでの
私とこれからの私は質的にも変わってしまっていると思
えている。大きな楽しみで共々...



4、これからのこと

芭蕉は「旅に病んで夢は枯れ野をかけぬる」の
句を残し、五十才で大阪の旅先で亡くなっている。
私の場合、晩年と言っても人生百才時代、まだま
だこれからですね。

これまでの活動と大人塾で学ぶ活動、一足の草鞋
を履いた自分探しの旅になる。

これまでは自分だけで決めた自分探しの旅であつ
たが、塾での旅立ちには皆で決める新たな旅、今旅支
度の真っ最中の思いを楽しんでいます...



認定NPOの期間更新！

寄付のお願い

ボランティア協会は、皆様からのご支援
のお陰をもちまして、今年五月から五年間
認定の期間更新を受けることができま
した。

引き続き寄付金控除制度をご利用いた
だけますので、今後とも活動をご支援下さ
る寄付をよろしくお願い申し上げます。

ゆいちょ銀行の払込取扱票(手数料協会負担)
もご利用しておりますので、詳細は、当協会に
お問い合わせください。

会員の皆様には、次回のほらんていあ通信に払込取扱票
を同封させていただきますので、ご利用ください。

ボランティアさん募集!



絵手紙指導のお手伝い

内容 デイサービス利用者(高齢者)男性1名、女性3名への指導の補助をお願いします。

絵手紙の作成経験があり、一緒に楽しんでくださる方を募集。

日時 水曜日 午後1時30分～ (月1回程度。水曜日であれば何週目でもOK)

場所 デイサービスセンターほっぷ (相模原市中央区陽光台 7-10-14)

連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所 : 電話 042(759)7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター: 電話 042(786)6181



～ほかほかふれあいフェスタ2018 10月20日(土)～

ボランティアさん大募集!!



①広場のテント設営	10名	8:00～ 8:30 ウエルネス前広場
②展示室の準備	5名	8:30～10:00 あじさい会館6階展示室
③ホールの準備、手伝い、片付け	5名	8:30～15:30 あじさい会館ホール
④スタンプラリー受付	4名	9:00～16:00 あじさい会館1階ロビー
⑤総合案内	4名	9:00～15:30 あじさい会館1階ロビー
⑥ほかほかカフェ	2名	8:30～15:30 あじさい会館5階(ボランティア活動室)
⑦広場のテント片づけ	10名	15:30～17:00 ウエルネス前広場
⑧展示室の片づけ	5名	15:30～16:30 あじさい会館6階展示室

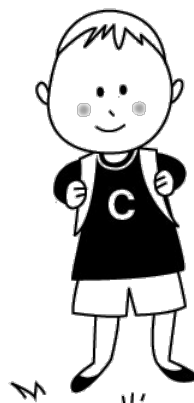
※③ ④ ⑤ ⑥は、半日でもOKです

皆様、お手伝いよろしくお願ひしま〜す!

連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所 : 電話 042(759)7982

編集後記
中国人の友達から、故郷に帰ったお土産に月餅をいただいた。今年のお月見は九月二十四日。ちよっとお天気が心配だけれど、月餅をいただきながら、悠久の時に思いをほせ、ちよっぴり優雅に過すことと決めている。(恒)



《今月のイラスト》
…よあ新学期
久しぶりにランドセルを
背負って学校に《